共同デスク 組合めぐり　第十一回　三鉱職組

職制への悩み

三池炭鉱における一昨年の大量首切り闘争に輝やかしい成果を収めた三鉱労組のその後の躍進ぶりはまことにどう目すべきものがある。

同じ炭鉱企業のなかにある各々職員組合は首切闘争において敗北を隠しきれない状態でさゝやかな成果しか得られなかつた。

そこに組織としての根本的な欠陥が指摘され三十年度は組織対策を最大のテーゼとして漸く職場分会、地域分会の組織づくりと大衆闘争の基盤強化に職組路線を一すじに進んできている。

かつて終戦後に、炭鉱組合運動の第一線にたつて「炭連」「炭協」「炭労」のなかで活躍した職組のそれと、今日大きな隔際をひそかに恥じざるを得ないが、又そこに職員の性格があるのかも知れない。

然し、「プチブル」とも「インテリ」とも、戦後十年、幾多の変遷のなかに、どう目すべき何物もなく、たゞジツグリと牛歩の如くであるにしても、「知識労働者」として、歴史的指向を見出しつゝある。

職場分会、地域分会の確立はすでに地につきつゝあるが、同時に職員と鉱員との共闘は、中央、支部における共闘を、職組より一歩前進せしめて職場共闘にまで発展してきた。

炭鉱組合戦線のなかで「職場共闘」は三池において始めてのことでないかと思われる。

この事から、全国に於ける職鉱関係に、又、全職員組合の統一戦線等がその何らかのプラスになり得れば、とひそかに考えている。

職員というものが、管理的職掌を大きく内蔵しているので、つねに職員の悩みは解消していない。

即ち職制と職員との関係である。抽象的なことでなしに、極めて具体的に、日々の労働環境に表われてきている。

その最たるものは、語弊があるかも知れないが「職員つるし上げ」である。

しかし、職場共闘の精神が、両方組織にしん透していくに従つて漸次、解消をみつゝある。

職員組合には右のような内面的な問題を、多くもつている。

そこで、職員組合を育てる力は何か。

闘争のなかで、職員自身が、その歴史的指向も見出すことゝ鉱員組合の人選が、職員をいかに味方として度量を以て接するか、所謂、労農両提携という広汎な闘い方である。

「組合めぐり」でルポという形から一寸、はずれた感があるが、同じ三池炭鉱における、鉱員組合と職員という形―炭鉱という業種の特色からくる―のなかから止むを得ない仕態となつたことを附言しておきたい。

政策變更大会における三鉱職組のデモ隊

大牟田・荒尾が協調 共に進歩的な市政を

明朗市政で 坂田 細谷 両氏が対談

いま大牟田市では、市長の椅子をめぐつて、保守と革新の対決が迫られいる、巷間では民主党内閣との関係から、地方市長は保守系がよいという風評が盛んであるが、それが眞実か否か。われわれが革新市長として絶大なる支持をしこの基盤のもとに当選した、荒尾市の革新市長坂田氏と、今次大牟田の労仂者、農民、中小企業の代表として大牟田市長候補に推薦された細谷氏との対談を、三鉱労組組合長宮川氏（荒尾市議）の司会のもとに持つことが出来た。

〔荒尾市長室での對談・左から坂田、細谷、宮川の各氏〕

両市の利害は同じ

宮川　今度大牟田市長に細谷さんを推すことになりましたが、ときを同じくして坂田さんが立候補されるということで今後荒尾大牟田という関係の下にそれぞれ協力して革新的な考えで進まれたいと思います。両市の発展のためこういうところから今まで坂田市長さんがやられた経験の中から大牟田、荒尾という関係と革新的な提携という意味で、今日は遠慮なく話合つて下さい。

坂田　これは私の三年間の体験から誰にでも云えるんですが、荒尾という市は大牟田の郊外みたいで大牟田が中心としてそれに隷属した街で、実はわれ〳〵は一体の市である。三池炭田が基礎になつている処から経済的にまつたく一体であるが、ただ行政的に別れているだけである。市政面からみても理想から云つても九州中部の大きな都市として一体となつた方が政治的にも経済的にも意義が深いと考えております。特に具体的な例として建設省などでは大牟田と荒尾の総合都市計画ということでやつております。二年間に亘つて今年完成するが、こういうふうに都市計画をやるにも一つの都市として中央では計画してやつている。

宮川　そういう意味でも大牟田と荒尾が同じような方向に進んだ方が良い訳ですね。

坂田　われ〳〵の考えとしては大牟田といえども必ずしも保守系の市長が適任であるとは云えない。特に大牟田でも荒尾でも殆んど勤労者が大部分を占めている関係から政治とか経済とかいうものは市民の大多数を中心に政治を行わなければならない市民大衆というものが政治目標でなければいかぬ、そういうことからすれば市民大衆、勤労者大衆が希望しているところの進歩的な行政を行うことが[illegible]とも市民の幸せのための市政であるこういう面から大牟田も荒尾も変りはないと思う、細谷さんが新しく進歩した考えで市政をやつて行かれるということは大いに大牟田の市民のために幸せが増すゆえんであると考え大変喜んでいます。

両市長は同じ考えで

細谷　坂田市長さんがおつしやつたようにまつたくその通りです三池炭田を中心に大牟田が発展し、荒尾が発展した現状では大牟田中心で荒尾は衛星都市の観があるがそれだけ密接不離の経済的関係にあります。しかし行政的には一体となることは一寸困難でしようが、実際上の運営に当つては矢張り一体となつて行き、困難を克服して行くことが必要だと思います。そういう点からいえば今まではあらゆる面で必ずしもうまくいつておるとは思いません。今後は大いに一体となつてやらねばならないということですね。

坂田　有無互いに相通ずるというお互いに協力して行くことは必要でして例えば荒尾は農産物が多い、この豊富な産物を大牟田に供給するということは当然やらねばならぬ、今後はそのつもりで農政なども大いに指導して行きたい。

宮川　荒尾、大牟田とも対会社問題が多いのですが、例えば鉱害問題とか固定資産税その他いろいろあるがこういう問題も根本的に食い違つている市長がおれば市政に対する困難が多いと思う、同じ条件同じ考えで会社に当るのでなければならぬと思う　そういう意味でも同じ方向にガツチリと進んでもらいたい。

細谷　例えば大牟田では市民の一番大切な水源なども熊本県のお世話にならねばならぬ、これは今一番大きな焦点になつて来ると思う。それから三井に対する行政が余りにも隷属的であると批判されている、例えば償却資産の評価などに当つてもいろいろ問題になつているということは公正妥当な課税をして市政に協力してもらわねばならぬ場合に大牟田と荒尾の歩調が違うならば、非常に大きな弱い面が生れる、こういうことも大切なことだと思います。

坂田　まつたくですね、三井鉱山関係や他の関連産業が経営をうまくやつてもらうことは両市の市民にとつても良いことですし幸せがますことです。デフレで会社も経営が困難だろうと思いますが、しかし法律で定められた税金は正直に申告して収めてもらいたい、大牟田も財政が窮屈だからその欠陥を無くして行かねばならない、そういう場合に考えの同じ市長がおられれば共同してやつて行けるそれによつて市民にも幸せが来るし会社のためにもよいと思う会社は自分たちのソロバンだけをはじくということでなしにもつと自分の関係している社会やその地域に対して社会性を持たせると同時にもつと社会的な問題、例えば鉱害復旧、水利の問題、土地の問題などに会社は良識ある考えで望んでもらいたい今後そういう場合にも細谷さんに市長になつてもらうとわれわれも心強い。

革新市長がスヂを通す

宮川　今盛んに保守系の連中が云つているのは「代議士が落ちたので市長は必ずとらぬと中央とのつながりがなくなる」と革新派のけん制をやつているが三年間革新市長としてやつてこられた坂田さんが中央との関係などについてその辺は如何ですか。

坂田　私の考えですと一般国民に対する中央の施策というものは党派的な考えでやるべきでないと思つている、それでなければ必ず悪政になつてしまう。そういう考えだから少しも遠慮することはないと思う、筋道を立てて市の繁栄とか市民の福祉とかの問題をもつて行けば、如何なる政府でもスジが通れば出来るものです。市長の勉強努力も必要だが、私の経験からすると荒尾では三年の間に恐らく、まづ第一に道路がよくなるし港湾の問題も取上げようとしてゐるし国道の改修なども殆んど三十一年度から実行に移すようになつている、これらの重要施策は勿論のこと、失対の問題もスジ道を通して行けば政府は殆ど皆入れてくれる、例えば実例として熊本県はいわゆる自由党内閣が六年間続いたが自由党の市長のところが仕事ができているかと云えば殆ど出来ていない革新派とみられる荒尾、水俣が却つて出来ている、スジ道を通して行くことと市長が努力して行くのが併行すれば必ず出来るのであります。保守系の連中が中央とのつながり云々というのはこれはまつたくスジの通らぬ理くつで何というか、たゞ選挙戦を有利にするためのデマですな、デマ戦術に外ならぬ、そういうことに乗ぜられる必要は少しもない。中でも今まで福岡県の行政面では鵜崎、細谷といわれた革新系の両氏のことであるから、今度の知事戦で鵜崎氏が当選されれ県、市の名コンビが出来るならば、さらに一段の性能を発揮できると思われますね。とに角スジを立てゝ正しく真正面からブツカツて行けばみな通るという確信をもつておりますから細谷さんもそういうことは少しも心配なく進んで下さい。これは私の八代と荒尾の七年間の体験だから。

大牟田市政を清新に

細谷　私も三年前に市長戦の応援に来て前寺田市長の市政下の道路の悪いこと、あれは殆ど手が入つていなかつた。今度来てみますと主要道路は殆ど補装されており、結局地方自治というものは党派根性をすてて市民の切実な要求や福利厚生の面を改善するのを市民と共に動くことが問題解決であると思います、大牟田市民も今の坂田さんの言葉はカミしめてもらわねばならない。

坂田　まつたく同感です。補装道路は一寸もなかつたが三年間に約四キロ以上の補装道路が出来上ることになる、これは公約を実行しただけです。細谷さんが市長になられたら大牟田の方も力を入れて道路をよくして下さい　お隣りから声援します。

細谷　四キロといわれたが補装された道路は保守の市長である大牟田よりズツト進んでいますね

坂田　結局政治というものは正しくやるということに他ならぬ、細谷さんも今がコンデイシヨンもよく元気だからそういう人を先頭に大牟田の市民が迎えられることは喜ぶべきことです。田中さんも良い人ですが政治はやはり人心を倦まさずに清新にするということが大切です、大牟田市政を強力に推進する意味から保守、革新とかは問題でない細谷さんになつてもらつた方が（笑声）。

細谷　坂田さんは道路行政のオーソリテイだし大牟田、荒尾が一体となつて都市計画、土木計画をやつて行く上に土木の先覚がおられるのは心強い、今後は協力を仰がねばならぬと思つています。

坂田　私の専門ですから喜んで協力したいと思つています。私の方も細谷さんの組合運動や工業生産などの多年の経験を鍛えてもらつて手をにぎり合つて協同して行きたいと衷心から思つています。

宮川　ではこの辺でありがとうございました。是非一つ大牟田と荒尾は密接不可分の関係にありますから二人とも是非当選してもらつて両市の発展のため尽力していただきたいものです。

吾等かく推薦する

地方選擧候補の横顔

われわれは衆議院選挙戦で一応の勝利を得ることが出来たが、この勝利に酔うことなく次の闘いに備えなくてはならない。四月二十三日の県知事、県議戦をトップに地方選挙の闘いの火蓋は切られ、われわれは地方においても地位と生活を守るために革新陣営から候補者を出さなくてはならない。大地評、荒地評選挙対策委員会では知事候補として鵜崎多一氏、県議候補として小宮市太郎、浦川守、川口六平、酒井善為の四氏を推薦・公認した。なお大牟田市においては保守と、会社側市長の対抗馬として、細谷治嘉氏を公認した。

知事候補　**鵜崎多一**

鵜崎さんは経済審議官という、いかめしい役人から福岡県の副知事として迎えることになつておつたが、自由、改進を中心とする保守党の猛烈な反対をうけて、ついに実現しなかつた。鵜崎さんが保守党に反対された大きな理由はほかでもない、革新的だということです。農林官僚出身ではあるが、和田社会党左派書記長などと、かつては同じ研究グループで活躍した農業経済で、しかも太つ腹で線の大きい政治家として好感がもてます。一度あえばきつと好きになれる人です。こんな人こそ民選知事として好適の人だと確信をもつておすすめする次第です。

大地評会長　小宮市太郎

市長候補　**細谷治嘉**

クタビレてしまつた大牟田の市政を清新発らつたるものにするためにはなんといつても人を求めなくてはならない。私達が推薦する細谷さんは学生時代は秀才で、県議としても革新陣営のホープとしての活躍はめざましい。若さ、情熱、力量ともに、大牟田市長として責任をもつて推薦出来る人である。「細谷市長」と呼べば全市民の中から「われ〳〵働く者、中小企業者の代表」というこだまがする。

三鉱労組組合長　宮川睦男

県議候補　**小宮市太郎**

大地評の小宮さん……といえばあゝーあの人かと皆の人がうなづく程、親しみ安い人柄の持主である。昭和二十一年三池中學より九州代表として日教組づくりに参加以来今日まで二期の県議で、大地評会長等で農民問題、労働問題に積極的な活躍をした行動家であり情熱家である。今後も一層働いてもらおう。

三鉱委員長　太田千秋

県議候補　**浦川　守**

浦川守君との交情は組合業務を通じてであるが、私は彼に危ぐを感じたことはない。従つて信頼出来る人間だと信じている。誠意を以つて事に当り秀れた識見と手腕をもつて事を処理するのが彼の本領である。漸進的に社会を革新してゆく信念に燃えている組織人でもある。以上の様に私は彼を理解しているので最適の県議候補として推薦する

三鉱職組副組合長　澁谷聰磨

県議候補　**川口六平**

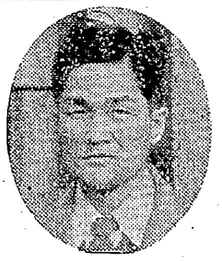
川口六平氏は三染、東圧、電化三合労組あげての推薦が物語るように、今日まで組合のため傾けたその情熱と節操は今生々として東圧組合員の中に脈うつている。係長という組合員として困難な立場でありながら社、労組合が分裂中労組のなかにあつて、精神的な支柱として、はたした役割はきわめて大きい。氏の信念と人格のほどがうかがわれ、あえて推薦の言葉としたい。

三合委員長　井上鉄雄

県議候補　**酒井善為**

タメさんとしたしまれ、花いぢりをしている処を見ると、彼は全くの凡人。処が一度闘争の場に臨むとドウシテ常人の及ばぬところがある。六十三日のストの時にしろ、企画の時にしろ、何処からあんな闘志が生れて来るか不思議な位、しかも頭も緻密に働く、彼が県議になつて熊本のボス県議と渡り合うことを考えると愉快になる。それだけ私は彼をどうしても県会に送つて働く者の為に闘わしたい

大地評事務局長　清田　移



昇格・超勤デタラメ

市労連人事行政に不満

市役所では最近になつて人事行政に対する不満や不平がたかまつている。二月二十三日の職組委員会でこの問題を討議したところ

①「わたしの係で最近十一人の人員が四人になつたのに仕事は同じ量ある。そのための残業をしても超過勤務手当は貰えない」

②「欠勤者があるとき、その人の分を残業しても超勤手当はもらえないので、そんなのは労働基準法違反で告発したらどうか」

③「わたしの係は事務吏員は二人で外は臨職の人だから責任が誰にあるかわからない」

④「欠員補充の問題を取りあぐべきだ」

⑤「わたしの課は給仕さんがいないので、女子事務員の人が掃除やお茶くみをやつている。また長期欠勤者の補充がないと仕事が全然できない」

⑥「昇格問題でおかしいところがある」

⑦「人事問題には組合から圧力をかけねばいかん。現在は不明朗だ」

⑧「女子職員の昇格があつていない。ある人は世帯主で日給二百円のため生活がゆきずまつているのに」

⑨「熊本市は臨職の全員昇格をどうして解決したか」

⑩「組合選出の市会議員が取りあげて闘つてやつた」

執行部「熊本は臨職の昇格で二年間闘つている。先ず日給月給の獲得、つぎに地域給、家族手当を闘いとり、最后に身分を勝ち取つている」

要求額全額とれ

合成主婦との懇談會

三合労組では賃上げ要求と同時に各社宅の主婦と懇談会を始め三月末まで続ける。今までの話合いの中では

一、賃上げは、期末手当のように一時金とは違うから、必ず要求額はとらねば。

一、停年になつても、どうせ仕事をしなくちや生活できないので子供を会社に入れてくれるように。

一、社宅の修理　①道路から家の中がまる見えするので垣根をぜひ　②家族が多いので二戸貸つている、家賃は二戸分払つているのに畳替など一戸分しかやつて貰えない、どうもおかしい。

などの主婦の意見がでた。強い要求として第一にでた『賃上げはぜひ要求額はとるように』のなかに含まれた声は、『スキ焼とか何年前に喰べたかもう忘れました』『いいえ、スキ焼とかそんなものじやなく、毎日の味噌汁にトーフを入れるのさえタメライがちです』という『恥や外聞、そんなものにかまつておれません』と口をつぐんで、じーつとうつむかれた。これらの声が『要求額はぜひ』と求めている。

二月十日、一齊に行つた与論調査を集約したが、そのなかで『今の生活は〃どうにもならない〃三五%、〃どうにかやつている〃六四・五%』の数字がでたのを、主婦の声は率直に物語つている。そして主婦の人たちの一致した関心は組合で、「弱いそうですね、強くしてください。要求でも何でもすぐとれるよう」と訴えられた。

三染青婦立ち上る

去る十五日夕、三染労組の青年婦人部代表委員会が開かれた。同会は、同労組の方針に従つて青年行動を編成、闘争の先頭に立つて頑[illegible]旨ときめたが、この青行隊活動の中で、生理休暇、結婚資金、奨学資金、事務服支給などの青婦独自の要求も一般に訴え、全組合員の支援を得た上で、正式の要求として会社へ提出することをねらつている。なお同会は闘争本部へ要望書を、会社に抗議文を手交。

組合の動き、主婦の声を交換して不如帰（ホトトギス）武夫と浪子の悲恋物語を、迷？調子の弁士で幻燈上映をやり、ヤンヤのかつさいをうけ、なごやかな懇談で賃上げを共に闘いましようと話合つた。

賑わつた日曜

各種競技で熱戦〔四山〕

三月十三日の日曜日は総選挙もすみ、ひさしぶりの休日であつたゝめか、四山社宅では各地域分会、公民館等行事がにぎやかに行われた。

大島二分会はPTAとの共同主催で児童の駅伝大会、女子児童はドツチボール大会が行われ、社宅一周駅伝には家族の応援でにぎあつた。

大島三分会は班対抗のソフトボール大会、奥さん達を含めてのチームでホームランまで出る熱戦で、一日を愉快にすごす事が出来た。

四山社宅は公民館主催の駅伝大会これも社宅一周分会旗、赤旗をふつての応援、炭鉱社宅の意気を高めた。

坑内保安に盡力

四山人車ホームで呼かけ

四山鉱では毎日の入昇坑時の斜坑入車で下車後坑内を走るものがおり、坑内保安の点からも危険であり悩みの種となつていたが、このため昨年八月各職種ごとに人事係を設けてこの指示に従つてそれぞれ昇坑することを定めて最近におよんで来た。

このため坑内で坑道を走るものが著しく減少し係を喜ばせているが、同鉱口方開発部内人事係の内平三郎さん（四五才）は同部門の年長者ながらもこの人事係を昨年設置以来つとめ、毎日人車ホームで組合員に呼びかけて皆の協力を願つていた。このためこの種の行為は急激に減少し内平さんの職務の熱心さは部内全員のみならず四山鉱の評判となり、坑内保安にあづかつた力は大きなものである。

大平社宅の自宅を訪れると妻文江さんの外に子供四人の六人暮しの楽しい家庭が営まれており、内平さんは職場では部内駅伝競走の選手として活躍しており

「私はこの人事係を引うける前は人をおしのけても先に昇坑する人間でしたが、この任務をうけてから反省しまして決して人には迷惑をかけないという気持で一杯になり、いまは一生懸命にやつております。現在では皆さんもほんとうに協力して下さるし心から感謝しております」と嬉しそうに語られた。

農民も商人も………

メーデーの準備すすむ

三月十一日の大牟田地区統一メーデー実行委員会では、前夜祭の内容、諸作品の募集要綱或いはメーデー幻燈、同アルバムの作成（中国等外国に送る）16粍映画の製作等について盛り沢山の行事が決定された。これらは予算を附して二十二日の常行委員会で承認を仰ぎ最終決定を見ることになつている。

一月二十八日大地評の委員会で初めてメーデー準備会が発足し、三月五日には第一回の大牟田地区統一メーデー実行委員会が農民、商人、政党、婦人団体、労組、文化団体、その他民主団体等約五十数団体が参加して発足した。そして今後は各参加団体が更に呼びかけて「街ぐるみ」のメーデーにするよう努力して行くことが確認された。

そして前夜祭、勤労者美術展などの文化行事は一切文化団体に一任され、役員に次の諸氏を決定した。

実行委員長　小宮大地評会長
副　〃　農民、商人、婦人、労組
事務局長　清田大地評局長
事務次長　武藤大地評次長
文化部長　平島三鉱編集部長
副文化部長　映画文化協会出海、うたう会・永江

三池専門店会や三鉱労組指定店会連合会等々の小売商店の団体では早くもメーデーに関して数回の会議をもち、実質的に労働者と提携するために、どうしてメーデーに参加するかが論議され、大売出しや、身体障害者の慰問等具体的なことが問題になり早くもメーデーの話題が街に起つている。

また大地評では昨年からの懸案でもあつた、炭都祭と一緒にやることについて市当局に申入れを行いメーデー費用の一部として一〇万円の補助金を申請しているが、前者は市長、市議選挙で困難性が予想され、後者については明るい見透しを市長は回答している。

前夜祭、勤労者美術展などメーデー行事の具体的な決定は左記の通り

◎前夜祭

期日　4月16日（土）夕方より
　　　雨天順延
場所　笹林公園音楽堂に舞台設置
内容　コーラス、楽団、演劇、おどり、スケアーダンス、人形劇、万才、紙芝居（大型）詩劇など

◎映畫會

期日　4月28日（木）夕方より
場所　市民会館
内容　五四年メーデー、日本のうたごえ、日鋼室蘭、マンガ　劇映画
　　　バンド、演劇その他

◎勤労者美術展

期日　4月24日－28日
場所　市民会館
内容　写真、絵画（和、洋）マンガ（政治、連続）ポスター（前夜祭、メーデー用）色紙、小、中学生の習字、図画、雑誌、ガリ版新聞、木版画など

◎プラカード展

期日　4月30日－5月1日
場所　市役所前道路両側

×　×

作品募集要綱は別途チラシを流す

平和詩集原稿募集

原稿締切四月十日

別記のようにメーデーを記念して「メーデー平和詩集」を発行することになつたので、詩研究会、炭鉱地帯ではつぎのように作品募集を行つている。

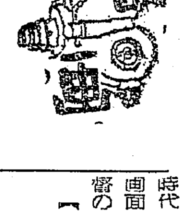
内容　職場や農村や家庭の中から、生活にじかにふれた作品（四百字詰原稿用紙何枚でも可）
〆切　四月十日
送先　映文協又は炭鉱地帯（三鉱労組内）

なお今年はメーデー実行委員会に諮つた上で、できたら活版印刷で発行する予定である。

武士階級の矛盾を衝く

内田吐夢監督の歸國第一作「血槍富士」

時代劇の俳優が何れも生き生きと画面に躍動するのはやはり内田監督の腕の冴えであろう。【30日から東映、荒尾東映で封切】



これは中国で長い間、映画の仕事をして、一昨年帰国してから病気を養いつゝ、想をねつていた内田吐夢の第一回作品である点に最大の興味がある。

一般に彼は直ちに危機にひんする独立プロに馳せ参じて、彼なりに縦横の腕をふるうのではないかと予想し又は期待していたようであるが、突如東映で事もあろうに時代劇に取組んだ。彼のこの態度の正否は別として、彼の旧友である溝口健二、小津安二郎、清水宏、伊藤大輔が夫々企画立案に協力したという点、又さらに長い間故国日本から離れていたので、感覚に多少のギャツプのあることを恐れ先づ時代劇に新風を吹きこもうという気持からこの仕事に取り組んだという慎重な態度、これは作品の上に立派に生きて生彩をはなつ結果となつている。

映画は武士、槍持、庶民の交錯の中に封建時代における階級制度の矛盾を描くものであるが、平凡な幾つかのエピソードの中に、或時は悲しく、或時は底抜けにおかしく、昔も今も変らぬ人間の心の奥底に流れるものをひしひしと感じさせてくれる。片岡千恵蔵、加藤大介、月形龍之介、喜多川千鶴　田代百合子など

中國映画總天然色「梁山伯と祝英臺」

四月四日午后十二時半、夜六時の二回　市民会館で中国映画の会が、日中友好協会大牟田支部の主催で開かれる。映画は「梁山伯と祝英台」（二時間）と「トンコウの壁画」（三〇分）の何れも総天然色三五ミリである。

「梁山伯と祝英台」は東京で紹介されるや、朝日新聞で取りあげるほど大きな評判をまきおこして話題となつた作品である。一九五四年国際映画祭音楽映画賞もうけている。

映画は、梁山伯と祝英台の男女の悲恋が中心になつており、封建制度に対する不屈な反抗が、越劇と呼ばれる歌舞劇によつて芝居にしくまれ、舞台で上映すると三時間かゝるものを映画では二時間にまとめてある。

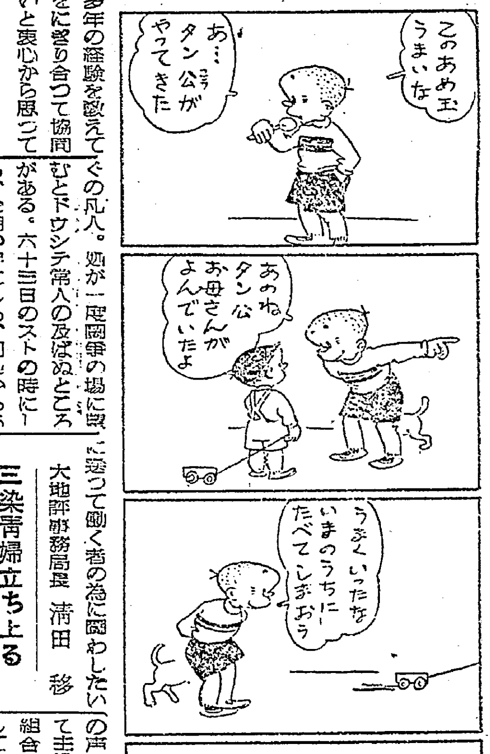
「トンコウの壁画」は甘粛省トンコウ莫高洞窟内にある壁画を紹介した学術記録映画で、中国古代芸術のすぐれた伝統が、素晴らしい総天然色によつて再現されている。

名画座でメーデー記念上映「鐵路の闘い」

荒尾名画座ではメーデーを記念して五月一日前後に、フランス国民のレジスタンスを描くスペクタクル映画「鉄路の闘い」（カンヌ映画祭グラン・プリ、ルネ・クレマン監督）を上映することになつた

連載漫画　NO12

ろちゃん　中村かめお


このあめ玉うまいな
あ…タン公がやってきた
コラ
あのね タン公 お母さんが よんでいたよ
うまくいったな いまのうちに たべてしまおう